




学 位 論 文 の 調 査 要 旨

専攻名 (又は推薦専攻名)	地域イノベーション学専攻	氏名	坂本 文子
学位論文題目	持続可能な地域社会の形成・維持に向けた 多文化共生の実態と社会変容の在り方		
調査委員会	委員長	青木雅生	
	委員	西村訓弘	
	委員	加賀谷安章	
<p>調査結果の要旨</p> <p>本論文は、日本における人口減少によって自律的な地域社会の構築および地域の担い手不足の対応などが課題となりつつある中、一方で地域コミュニティにおける人々のつながりの希薄化が引き起こす深刻な課題も後を絶たない状況で、社会関係資本を中心に多文化共生の実態を明らかにすることを通して、これからの日本における社会的効率性を高められる持続可能な地域社会の在り方を検討することを目的としている。</p> <p>日本における地域社会の変容を「外国人住民の増加」と「地域コミュニティの衰退」の二つの側面に分けて捉え、第1章で外国人児童生徒教育について、そして第2章で地域コミュニティの形成・維持の実態を明らかにしている。さらにそれらの課題をつなぎ止め、かつ解決を図る手段の検討として、第3章で地域に根差した教育手法、第4章で中間支援におけるコーディネーションに着目し有効性を検討した。以上を踏まえ、地域における外国人児童生徒教育において社会関係資本の重要性を示すとともに、地域が共同教育者となることによる社会変容の可能性と中間支援が果たす役割の重要性を示唆した。</p> <p>研究成果は、地域における多文化共生あるいは移民政策への施策提言の一助となり、地域イノベーション学の視点からも価値が高い研究といえる。</p> <p>関連論文等の発表状況は、第1著者である邦文関連論文3篇以上が査読のある雑誌に掲載されている。加えて、英文プロシーディングのある国際学会での発表も行われており、学位論文提出のための要件を満たしている。</p> <p>提出された学位論文は、論文としての章立て・構成・文章の流れなどが十分整理されており、引用文献および参考文献も適切に引用されている。</p> <p>以上の研究成果は、特に地域イノベーション学研究科の研究として有意義であり、博士(学術)の学位を授与するにふさわしいので、「合格」と判定する。</p>			